

講義名	日本語資格試験講座 【N2対策】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	辻 周吾	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

### 主題と概要

日本語能力試験N2における、日本語の言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解について、総合的な内容を指導します。毎回の授業で、まずN2の問題を解いてもらい、それに関して詳しく解説します。

### 到達目標

N2における、日本語の言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解を確実に身につけ、活用することができるようになる。日常的な場面で使われる日本語に加え、幅広い場面で使われる日本語を、より理解することができるようになる。

### 提出課題

毎回の授業中に小課題を課します。

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

課題について、授業中にフィードバックします。

### 評価の基準

授業への参加度(7.5%)、中間課題(10%)、期末課題(15%)

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとります。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

.日本語能力試験問題集N2文法スピードマスター.	浪道亜子・白石知代	Jリサーチ出版	1320	9784863920590
.日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター.	小林ひとみ・森原里奈・木林理恵	Jリサーチ出版	1320	9784863920583
.日本語能力試験問題集N2聴解スピードマスター.	榎橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり	Jリサーチ出版	1540	9784863920576

### その他

授業中にプリントや資料を配布します。

### 授業計画

- 漢字(仕事・組織・自然・環境など)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 漢字(社会・科学・学問・研究など)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 文字(産業・技術・自然・仕事・能力・評価/類義語、対義語、同音異義語など)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 文字(動詞・形容詞・動詞・多義語/複合動詞、カタカナ語など)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 文字(前置詞・関係詞・接続詞・フレーズなど)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 文法(「は」と「より」の使い分け、に沿ってなど)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 文法(「に」に基づいて「に」における「未[に]など)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 文法(「に」に基づいて「に」にあたってなど)/中間試験  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(内容理解/短文)/内容理解(短文)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(総合理解)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(単語理解)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(情報検索)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(読解理解/短文)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(読解理解/短文)  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)
- 読解(総合理解)/期末試験  
予習内容:教材に目を通しておく(120分)  
復習内容:授業内容を復習する(120分)

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	○	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

N2における言語知識、読解、聴解を身につけることで、日本語の文献などから、課題発見や課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができるようになる。情報収集力の点から、「知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材」を育成する。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

### 実務経験の有無及び活用

### 備考